

(様式共通第3号)

宮城県加美農業高等学校マイスター・ハイスクール事業実施報告書
 高校教育課 様

加美農業高等学校長

標記の件について、下記の通り報告します。

記

提出年月日 7 年 3 月 24 日

プログラム No.		プログラム名称	商品開発(企業連携授業)
学 科 名	農業機械科	担 当 者 名	岡本千太郎
参 加 生 徒	2, 3 学年	延 べ 人 数	5 名
実 施 会 場	加美農業高等学校、(株)本橋製作所東北工場		
実 施 目 標	① 地域の財産(環境・人財)を活用して貢献できるモノを開発する ② 生徒自身が、より高度な技術を体験してスキルアップする ③ 地域貢献する先輩方と協力することで自らの進路意識を高める		
実 施 内 容	① 開発商品の提案→共同設計→SNS等での評価→改善 ② 材料選定→試作品の製作(先進工作機械の講習)→評価 ③ 燃焼実験→調理実験→CO漏れ調査→商品化まで(この1年間)		
実施日・実施回数 及び実施時数	4月16, 23, 30日、5月7, 21, 27日、6月4, 11日、7月2, 9, 16日、 8月27日、9月3, 10, 24日、10月1, 8, 15, 19, 22, 29日、11月5, 12, 13, 19日、12月10, 17日 計27回×4時間=108時間		
外 部 講 師	区 分	<input type="checkbox"/> 産業実務家教員 <input type="checkbox"/> 産業連携CD <input checked="" type="checkbox"/> その他(協力企業)	
	所属・役職・氏名	(株)本橋製作所東北工場 工場長 井上浩良 様、同 担当 長沼 様	
教育課程への位置付け	<input type="checkbox"/> 総合実習 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 課題研究 <input type="checkbox"/> その他()		
記 録 写 真			
実 施 果	① 地域人財の協力により、この1年間で提案をモノ・形にすることができた ② 様々な提案や改善策を考えることで、モノづくりの根幹を学ぶことができた ③ 地元開催の産フェアやYouTube、農ク研究発表会でプレゼン力が高められた ④ SNSの評価(口コミ)など、充実したりサーチカの重要性が認識できた ⑤ モノづくり企業での加工組立体験が自信となり、自らの就職先選びに生かされた		
実 施 題	① 企業連携では生徒側の自主的な行動が必要で、自覚を持たせる苦労があった ② 校外での実施も多く、移動手段や公認手続きなどの許可を得る機会が増える ③ 研究発表等では、個人情報や肖像に係る部分で保護者の同意が必要となる		
備 考	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>		

(※1) プログラム No. は予算等管理用『事業計画一覧表』のNo. と一致させてください。

(※2) 産業実務家教員等に関しては、授業単元毎、月毎など作成区分を工夫ください。